資料 ２－３

**第２回　大阪府泉州在宅医療懇話会概要**

日時：平成２８年９月８日（木）１４：００～１６：００

場所：テクスピア大阪　４階　４０２会議室

**■議題　「地域医療介護総合確保基金について」**

**（資料に基づき、大阪府泉佐野保健所から説明）**

　　（資料１）基金事業アンケート集計

**（主な質疑応答・意見等）**

○〈質問〉ＩＣＴについて大阪府下で統一したソフトを使う予定はあるのか。

　〈回答〉今のところ、具体的にそのような話は聞いていない。

**■議題　「平成２８年度　４つのテーマについて」**

**①　医療資源充実**

**②　緊急時対応２４時間提供体制**

**③　診療所等への後方支援**

**④　在宅医療・介護連携推進事業**

**（資料に基づき、大阪府泉佐野保健所から説明後に和泉、岸和田、泉佐野保健所の各管内委員が**

**分かれて意見交換を実施）**

　　（資料２）在宅医療懇話会検討結果整理シート

　　（資料３）「在宅医療懇話会検討結果整理シート」アンケートによる

　　　　　　　泉州圏域の在宅医療に係る現状と課題、提案・要望のまとめ

**（主な意見等）**

○和泉保健所管内委員意見交換のまとめ

　・在宅医療の支援として、今後は慢性期病院と診療所との連携が必要で、慢性期病院で在宅医療

　　の後方支援ベッドも考えられるのではないか。また、患者が急変したときでも、急性期病院へ

の入院は必要ないと在宅医が判断しているものであれば、慢性期病院で対応することができる

のではないか。

・患者に「ＩＣカード」を持ってもらうことにより、孤独死であっても検死の必要がなくなるこ

　とも考えられる。

・歯科については、現在歯科治療がメインになっており、口腔ケアの必要性がまだ十分知られていないのではないか。歯科医師会、歯科衛生士の中でも周知できていないのではないか。

○岸和田保健所管内委員意見交換のまとめ

　・岸和田市と貝塚市でかなり取り組みに違いがある。

　・医療資源の偏りがあるので、カラーマップ等を作り細かく分けてみたらどうか。

・在宅療養支援診療所の届出のない診療所にも、今後在宅医療に取り組んでもらえるようにフォローしていかなければならない。貝塚市はこれからそのような動きもやっていく。

　・患者と家族で在宅医療についての認識に違いがある。

○泉佐野保健所管内委員意見交換のまとめ

　・医師会地域連携室のコーディネーターが在宅医を増やす取組みと、研修会等を企画している。

・居宅介護支援事業所がたくさんある中で、事業所の特徴が分かり、選びやすいような“情報公開”も必要ではないか。医療資源についてもマップ化して提供していく必要がある。

・医療と介護の連携について、市町単独でできないことを６市町合同で実施する強みを出していければ良い。

・認知症等の対応で、ケアマネジャーのレベルアップの研修やその他、多職種連携の研修会の開催を行政が進めていく必要がある。一方で、市民啓発についても進めていく。

**■議題　「在宅医療に関するアンケートについて」**

**（資料に基づき、大阪府泉佐野保健所から説明）**

　　（資料４）在宅医療に関するアンケート

**（主な質疑応答・意見等）**

○〈質問〉各三師会の会員に質問用紙を配布する際は、郵送するのか。費用は懇話会負担か。

　〈回答〉それぞれの事務局と相談させていただくが、他の方法があれば検討したい。今年度の懇話会では、そのような予算はない。それぞれの事務局と検討したい。

　〈質問〉その返信は泉佐野保健所あてか。

　〈回答〉それぞれ管轄の保健所あてにＦＡＸにて回答いただく予定。

○〈質問〉無記名か。

　〈回答〉無記名の予定。設問２の所在地で、どこの所属かが分かる形をとっている。

〈質問〉医療機関名は出ないのか。名前が出ないアンケートで真面目に返すか疑問がある。来年度から実施ならば予算を取ってはどうか。

〈回答〉事務局で検討する。

○〈質問〉看取りの人数について、外来診療中の患者が亡くなっても死亡診断し、死亡診断書を発行した場合もそれは含めるのか。また、看取りの対象は施設を除くのか。

　〈回答〉看取りの定義、対象に施設を含めるかについては、ご意見を踏まえ、事務局で再度検討する。

○〈意見〉アンケートを府下統一で取り組むようにしたら良いと考える。圏域の特徴を把握するためにもぜひ実施して欲しい。

　〈回答〉府にご意見を報告する。

○〈意見〉平成28年7月6日厚生労働省第1回全国在宅医療会議の資料の区分を参考に使えば良いのではないか。

**■議題　「その他について」**

○〈意見〉資料３の「医介連携事業の現状と課題」に「認知症対策の資源不足（専門医・疾患センターがない）」となっている。資料２の意見がまとめとして資料３に入ったと思われる。まとめは泉州圏域全体となるが、泉州圏域には認知症専門医、認知症サポート医がおり、認知症疾患センターもあるので、資料３の記載の整合性をとるのが良い。

○〈意見〉認知症疾患センターが圏域内にあることは理解しているが、市内に無いという意味で意見を書いた。専門医は市内にもおられ、連携は出来ている。言葉の追加、記載が不十分だった。

○〈意見〉泉州圏域に疾患センターはあるので少し訂正する必要がある。

　〈回答〉いただいたご意見の表現の仕方で誤解が生じた部分があった。その他に実際の意見と記載内容の誤りがあれば修正するので連絡をいただきたい。